

UNION PRESS

埼玉大学教職員組合 No.1 (2022年4月号)

2022年の度活動方針

◆ 金井 郁 (かない・かおる、執行委員長、経済学部)

新執行委員長になりました経済学部の金井郁です。非正規雇用や女性労働を主なテーマとして研究・教育していますが、労働組合研究もしています。労働組合研究の蓄積を埼玉大学教職員組合での実践にも生かせるようにしたいと思います。昨年度、コロナ禍の労働諸条件へのインパクトを緩和するために、民間企業の労働組合がどのような取組みをしたのかを調査したところ、労働組合の取組み如何で、コロナ禍の組合員の労働条件への影響の程度は大きく変わっていました。そして、コロナ禍の組合の取組みは平常時からの労使コミュニケーションや組合活動のあり方によって既定されていました。

埼玉大学教職員組合でも、日常の組合活動をしっかり行い、組合員の生活と労働を守っていきます。2022年度は2021年度の以下の活動方針を引き継ぎ、内容を深化させた取組みを強化します。

☆教職員が置かれている労働環境を把握し、改善していく

☆教職員が新型コロナウイルスに感染しない労働環境を作る

☆対面・オンラインを駆使して、組合員同士の交流と情報宣伝活動を行う

第1に、教職員が抱えている労働時間・賃金・土日出勤・雇用保障といった制度面の問題に取り組まします。特に、大学院入試手当の改善や入試などの際の美味しいお弁当支給などの環境改善を同時に求めていきます。たかがお弁当、されどお弁当で、働く者が気持ちよく仕事をし、職場へのコミットメントを高める「仕組み」として重要だと考えます。

また、教職員が抱える個別相談の内容にはかなり深刻な問題も含まれています。中には法的にも問題となるようなケースも存在しており、労働組合としても組合員の労働環境を是正するため大学側に働きかけていきます。2019年6月第108回ILO総会で、「仕事の世界における暴力とハラスメント」に関する条約および勧告が採択されました。同条約では、仕事の世界における暴力とハラスメントは「人権侵害または虐待になり得ること、機会の平等を脅かす許容できないものであり、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)と相容れないもの」であるとしています。仕事の世界において暴力やハラスメントを受けることは、社会学者の牟田和恵がいうように、キャリア、職業生活、人生設計や生計を危うくする労働上の被害です。働く者にとって仕事の世界で暴力やハラスメントを受けないことは、根源的に実現することが必要な権利であることを埼玉大学にいるすべての人の共通認識となるよう取り組みます。

第2に、対面授業が基本となって新学期がスタートしましたが、未だ感染拡大が収まっていません。新型コロナウイルスに教職員が感染しないような労働環境が作られるよう、大学側に求めていきたいと考えています。

第3に、コロナ禍、組合員同士の交流が制約された2年間でした。対面での活動も工夫しながら再開し、組合員の交流の「場」を再構築していきたいと思います。

1年間、よろしくお願いします。

～新役員紹介～

◆ 高橋 哲（たかはし・さとし、書記長、教育学部）

本年度執行委員会の書記長を務めさせていただきます教育学部の高橋哲です。埼玉大学での勤務は12年目を迎えますが、執行委員の担当は4度目となります。正規雇用の教職員の方々の労働環境の改善はもちろんのこと、本学を支える非常勤の方々にも働きやすい環境となるよう、執行委員の方々と協力して本年度の業務にあたりたいと思います。また、「組合って楽しそう!」とっていただけるような行事等も企画する所存ですので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

◆ 磯田 三津子（いそだ・みつこ、副委員長、広報・教文、教育学部）

副委員長を務めることになりました教育学部の磯田三津子です。専門は、多文化教育、在日外国人児童生徒教育です。2011年に埼玉大学に着任して、今年で11年目です。みなさまと一緒に、組合員の一人として働きやすい大学の環境づくりのための活動に尽力できればと考えています。皆様のご指導を仰ぎながら、頑張ります。

◆ 幅崎 麻紀子（はばざき・まきこ、副委員長、財務、ダイバーシティ推進センター）

副委員長を拝命しました幅崎です。所属は、ダイバーシティ推進センターです。専門は文化人類学とジェンダー学です。南アジアをフィールドにリプロダクションの変容について研究をしています。埼玉大学に着任し5年目になりました。5つの国立大学で働いてきましたが、埼玉大学は最も働きやすい大学だと感じています。埼玉大学の良さを活かして、もっと働きやすい環境となるよう、一年間頑張ります。

◆ 鮮于 媚（そぬ・み、広報・ユニオン・組合HP、教養学部）

広報とユニオンプレスの編集を担当します教養学部の鮮于媚（ソヌ・ミ）です。専門は日本語教育、特に、音声教育を専門としています。2018年に着任して以来、組合の行事に参加をしているうちに埼玉大学をもっといいところにしていきたいと思い、2022年度からは執行委員になりました。これからも皆様のご指導をいただきながら進めて参りたいと思います。

◆ 長谷川 浩美（はせがわ・ひろみ、非常勤職員部、さいだい交流ひろば(基盤教育企画)）

初めて執行員を務めることになりました、長谷川浩美と申します。所属は学務部教育企画課の基盤教育研究センターさいだい交流ひろば担当です。勤務して5年目になります。学生と一緒に企画イベントを考え開催する、やりがいのある職場と働きやすい環境に日々感謝しております。組合の活動に皆さまのお力をお借りして精一杯やらせていただきたいと思います。

◆ 寺田 礼子（てらだ・れいこ、組合事務）

毎年組合役員が入れ替わり、毎度が新鮮な為、気付けば組合事務が9年目になっていました。2022年は既に新加入者が5名います。本年度の金井委員長率いる役員らの活動と、素敵なイベントや交流会をご期待下さい。

安全な職場環境作りのため、大学入学共通テスト業務および埼玉大学のコロナ対策に関するアンケート調査にご協力下さい。

アンケートは、下記のURL、もしくは、QRコードから回答いただけます。

URL: <https://forms.gle/GiihUGqJyicQFsry9> (締め切り:5月9日)



埼玉大学教職員組合 〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255 第2生協1階

E-mail: saikyoso@gr.saitama-u.ac.jp URL: <http://kumiai.client.jp/>

電話 :048-853-5609 (内線)3160 生協第2食堂・理髪店の奥